

# 令和元年度宮崎県特別支援教育研究連合知的障がい教育研究部会

## － 第1回理事会（総会） －

### 議事録

日時：令和元年6月21日（金）

午後2時から4時

会場：みなみのかぜ支援学校

司会：山之口教頭

#### 1 開会行事

- (1) 会長あいさつ みなみのかぜ支援学校 川越 俊彦 校長

本日はお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。ただいまより、第1回目を開催いたします。昨日、宮崎県特別支援教育研究連合代議員会（総会）ならびに第1回目の理事会が開かれました。毎年ブロック部会を1回実施しており、今年度は、日向地区が担当しています。担当になったところは、2、3年前から準備にあたっており、予算面での課題や会場の問題、負担の大きさ等の声があがり、見直しの時期にきています。知的部会については、今年度は休催とし、再来年度の開催に向けて見直しや準備を行っていきます。本日は、今後の確認を行うため、意見をいただきたいと思えます。

- (2) 本日の日程、配付資料確認

会次第、県特県連知的部会について、知的部会役員名簿、夏期セミナー案内、全国大会案内、封筒（理事の方）

- (3) 出席者自己紹介（名簿参照）

- (4) 知的部会について みなみのかぜ支援学校 西内 T P 1. 2

資料参照。今回出席していただいた方の中には、初めて理事を担当される方もいらっしゃるため、知的部会の組織の全体、方針、及び組織図（P 2）については前年度までのものを掲載している。研究大会については、今年度は休催し組織運営等の見直し、改善を行っていく。

#### 2 総会

- (1) 平成30年度知的部会事業報告 みなみのかぜ支援学校 西内 T P 3. 4

資料参照。この理事会は6月と2月の2回実施している。また、昨年度は県大会と九州大会が併催のため、2の年間事業計画の他に6回ほど大会実行委員会を行っている。

資料訂正：P 4の「3その他」宮崎大会 平成30年11月16日（木）から17日（金）  
→15日（木）から16日（金）

- (2) 平成30年度知的部会会計報告 みなみのかぜ支援学校 和田 T P 5. 6. 7

資料参照。

残金は、知的部会事務局の方で管理させていただく（大会実施の費用にあてるため）。

- (3) 令和元年度知的部会事業計画（案）みなみのかぜ支援学校 西内 T P 8. 9

資料参照。

6月14日に鹿児島で第1回九特連評議員会があった。それを受けて本日21日の理事会を実施している。P9の3その他の埼玉大会では、九州からの提案担当は熊本県のみである。次年度の長崎大会では、九州から5県が発表。宮崎県は、特別支援学校が発表担当となっている。

4の知的部会の業務分担について、拍手にて承認いただく。

- (4) 令和元年度知的部会会計予算（案）みなみのかぜ支援学校 和田 T P 10. 11

資料参照。

【知的部会】

収入の部 今年度は弘済会助成金はなし（休催のため）。

支出の部 研究大会運営費はなし（休催のため）。

【九特連】

収入の部 予算額 県特連より2万の支出、知的部会から3万支出の計5万（R10の準備金）。

支出の部 今年度は支出はなし（休催のため）。

〈質疑〉延岡しろやま支援学校 水野先生

発表者の旅費については、この予算から出るのか、また、発表者は準備等で前日から行くことがあるのか。

→旅費は各学校から。また、例年大会当日のみである。

内容について、拍手にて承認いただく。

- (5) 知的障がい教育研究部会規則 みなみのかぜ支援学校 西内 T P 12. 13

資料参照。

第7条の監事については、県特連校長が担当する。

P13の細則について、今後見直しをして、第2回の理事会で提案する予定である。

- (6) 九特連・全特連大会提案者等について みなみのかぜ支援学校 西内 T P 14

資料参照。

担当になったところは、次年度の担当を表より確認していただき、なるべく早めに次年度担当に伝え、引き継ぎを行う。

全国大会は、宮崎県の提案はR7年度になる。校長補足、全特連と九特連を併催するとなったとき、調整が必要である。また、長崎大会では、当初提案者の中に宮崎県は入っていなかったが、東京で行われた会で、宮崎県が第7分科会に入っていた。このまま進めてほしいとのこと。これに伴い順番である沖縄がとんでしまったので、ローテーションの変更が生じ、沖縄が2回行うことになった。この資料の流れが基本となるが、変更になる場合がある。

- (7) その他

・令和元年度以降の知的部会運営について みなみのかぜ支援学校 川越 俊彦校長（別紙）  
別紙参照。

昨年度、知的部会における研究大会の実施について見直しを行ってきた。今、過渡期である。今後に向けて、担当となったところは、各自の独自性や考え方で進めていってほしい。セミナー型や研究報告会など、内容の工夫を行っていただきたい。

〈質疑1〉延岡しろやま支援学校 水野先生

資料の各地区ローテーションについて、R4県特連の「県北」と、R3研究会担当地区の「県北」についての問い合わせがあった。県特連ブロック部会と知的部会と組織が違うため、同じ文面の表現を変えていただけると、誤解が生じないのではないか。

→表記について検討の必要がある。

〈質疑2〉日南くろしお支援学校 佐藤先生

南那珂と県南は、県特連ブロック部会と知的部会のメンバーがほとんど同じである。そうすると、R8県特連ブロック部会（南那珂）とR7知的部会研究会担当が通年になり負担が大きいのではないか。

→昨日の理事会で県特連の実施についての検討事項があげられた。今後、この表が流動的にかわる可能性がある。今後の動きを見ていく。

・会費納入のお願い

みなみのかぜ支援学校 和田 T

今年度も知的部会負担金をお願いいたします。特別支援学校の先生方の机の上に各学校の名前が書いてある封筒があります。その中にお願いの文書を入れていただきますので、持ち帰り、事務室へお渡しください。負担金請求の学級数は、R元年5月1日現在の学級数となっています。納入方法は振込のみとさせていただきます。8月31日（金）が期限となっていますのでよろしくお願いいたします。

### 3 連絡事項

(1) 第42回夏期セミナーへのお誘い（全特連）・全特連2次案内 みなみのかぜ支援学校 小園

全特連2次案内を各地区の先生方の机の上に紙袋でお渡ししております。各地区の学校数入れておりますので、配布をお願いいたします。なお、特別支援学校の先生方の机上には、住所学校名の書かれた封筒を一部配布しておりますので、ご確認ください。なお、次回の理事会について、文書を12月頃にメールで送信する予定なので、ご確認ください。

### 4 閉会行事

(1) 副会長のあいさつ 日南くろしお支援学校 榎木田 昭仁校長

昨日の代議委員会では、予算や会場の問題、特に小中学校の負担が大きいと声があがった。見直しの時期にきている。この会については、隔年開催となっているため、昨年度に比べてすっきりしたものとなっている。秋にある九特連について、担当の学校、職員の先生方のご協力をぜひお願いしたい。